

出張!串本海中公園



甲羅をなでなで♪

ウミガメさんに触れたヨ、  
かわいいい〜!!冷たいな〜

▽:「うわあ〜ウミガメさんだあ〜。カワイイな」「手足は柔らかいんだな」「冷たいゾー」——海南nobinosで3月15日「出張!串本海中公園」が行われ、市内外から約200人の子どもが参加してウミガメとふれあった。

初めに、串本海中公園の森美枝館長からサンゴのお話。サンゴは海の命を守り、私達



恐る恐る...

の暮らしを守っている。サンゴを守るため、ゴミを捨てない、自然を大切に、海の生き物に興味をもってほしいとお話し。

そのあと、吉田徹副館長からウミガメのお話。ウミガメは世界で8種類。そのうち、日本へ来るのは6種類。6〜7月の砂浜に卵を産みに来ることがあるので、ウミガメの足

▽:文部科学省は、こどもの積極的な読書意欲を高める優れた活動をしている学校や、図書館、民間団体、個人に文部科学大臣表彰を行っている。このほど海南市の海南nobinosが受賞、4月23日に東京で表彰式が行われる。

海南nobinosが  
文部科学大臣表彰 受賞

また、ピラリオバトルやワークショップなどで読書の魅力を共有、読書意欲向上に繋がった。  
5万冊の絵本を開架親子でゆっくり滞在して本に親しめる空間づくりに努めている。こども食堂や高齢者介護福祉施設への移動図書館を運行するなどのサービスの積極的な取り組みが評価された。

跡がないか注意深くみてみよう...などのお話。

今回は生まれて半年の青ウミガメ、1年半の赤ウミガメ、2才半の青ウミガメが出張。

こどもたちは最初恐る恐る甲羅を触っていたが、頭をなでたり、前後のヒレを触ってやわらかい...と。小さなウミガメがパタパタとヒレをパタつかせたりしていた。ウミガメを持ち上げて記念写真や動画を撮ったり、めったにできない貴重な体験に大喜びだった。



ウミガメとハイチーズ!!!